

## 木に感謝しながら登るツリークライミング！

令和3年度 緑の少年団交流集会『木登りしよう～ツリークライミング体験』活動レポート

12月4日（土）に公益財団法人静岡県グリーンバンク主催による『緑の少年団交流集会』が浜松市北区の県立森林公園森の家にて開催されました。県内から8名の子供たちが参加。20mを超えるアラカシに登るという貴重な体験が行われました。

### 木登りの前に準備体操と木に挨拶！

当日は、受付にて、新型コロナ対策の検温、手指消毒を行い、午前10時から小研究室でスタッフ紹介、当日のスケジュール等を説明した後、場所を移動してアラカシの前へ。事前にスタッフが準備した木登りのためのロープを前に子供たちのテンションも上がっていました。まずは木登りするためのヘルメットやハーネスを装着します。スタッフから安全に登るためにも装備は重要という説明を聞きながら、それぞれの装着するとそれまでより引き締まった表情に見えました。全員が装着し終わると準備体操です。「こういう風に木になってみよう。」とスタッフが見本をみせるとそれに合わせて子供たちが木になります。そのポーズは自然と身体が伸びるようになっていてしっかり準備体操になっていました。楽しそうに準備体操を終えると「じゃあ今日登らせてもらう木にご挨拶をしましょう！」というスタッフの声の元、子供たちは木に触りながら「今日はよろしくね。」「登らせてね。ありがとう。」と思いきいの言葉を木に伝えていました。



受付で検温と消毒を実施



ヘルメットやハーネスを装着！



木になりきる！楽しい準備体操



アラカシにご挨拶

### いよいよツリークライミング体験！

木に挨拶が終わると、ロープを使った登り方の説明です。登るために絶対に覚えなければならないセーフティーノットというロープの縛り方を教わります。これは木に登る時の安全装置のような役割をするということも教わります。ロープに慣れていない子供たちは「こーやるの？」「わかんない。」「できた！」それぞれ悪戦苦闘しながら縛り方を覚えていました。次にスタッフがフットロープに足をかけて登るデモンストレーションを行うと真剣な顔で見入る子供たち。「少し登ったら必ずセーフティーノットを作ること。わかったら登ってみよう！」待ちきれない子供たちは早速ロープにつかまり登り始めました。



セーフティーノットの縛り方を教わる

### 自分の力で登る苦労を知る。

スルスルと上手に登って行く子もいれば、なかなか身体が持ち上がり苦勞する子も。コツを覚えるまでは時間がかかっているようでしたが最終的にはどの子の上手に登れるようになっていました。「手が疲れたー。」「足が痛い！」などの声も聞かれ、ロープ1本で木に登るといふ苦勞を実感しているようでした。それぞれの子供たちが自分がどこまで登るか目標を決めて登っていきます。木に予めかけてあったハンモックを目標に登っていた子は、目標のハンモックにたどり着くと「やったー！」「気持ちいい！」など達成感に溢れた表情で下にいる私たちに手を降ってくれました。「景色はどう？」という問いかけに「紅葉がきれい！遠くも見える」と嬉しそうに感想を伝えてくれました。自分の力で登るといふ体験が子供たちの成長につながっているように感じました。



真剣に登る子供たち



## 木登りの感想は「また登りたい！」

ツリークライミングを終えた子供たちに感想を聞くと「楽しかった！」「また登りたい！」「疲れたけど面白かった！」「木の上から景色が見れてよかった！」など体験した8名全員が「また登りたい！」という感想でした。今回は参加したのが男の子だけということもあり、怖がるということはなく、木登りという非日常の体験が楽しかったようでした。



目標のハンモックに到達！

## 昼食後は『箸づくり体験』

昼食後は『箸づくり体験』です。普段か使っている箸を自分で作ることで木をより身近に感じることができる貴重な体験です。予め18cmにカットされた9mmの角材で箸を作ります。まず、スタッフからカンナの使い方を教わります。カンナを始めて使うという子がほとんどで、最初はおっかなびっくり作業をしていましたが、徐々に慣れていき削ることが楽しい様子でした。「持ちやすいように角をとった。」「先端は細いほうが取りやすいかも。」などそれぞれの子が工夫をしていました。言葉も少なく真剣に箸づくりに打ち込む子供たち。どんどん箸の形になっていくのが楽しいのか真剣に削っていました。カンナである程度の形ができると次はヤスリを使って整えて行きます。「すべすべになったよ。」と自慢げに箸を差し出してくれた子の表情はとても嬉しそうで印象的でした。「あと5分。」というスタッフの声に「えー、もう少し削りたい。」という子もいるほど箸づくりが面白いようでした。最後に家に帰ってからオイルを塗ることなどメンテナンスの仕方を教わって『箸づくり体験』は終わりました。



カンナの使い方を教わる



初めてのカンナ

## 木との触れ合いを通して！

午前はツリークライミングというアクティブなプログラム、午後は箸づくりというクリエイティブなプログラムと2つの異なる体験でしたが「木と触れ合う」共通のキーワードに子供たちも真剣に取り組んで多くのことを感じ取ってくれているようでした。子供たちからは「人生初めての木登りで緊張したけど、登れて楽しかった。」「木のとっぺんまで登れて、紅葉や景色が見れて楽しかった。」「カンナを始めて使ったけど上手にできた。」「箸がホームセンターに売っているものでできることがわかったので、また作ってみたい。」「またこのような機会があったら参加したい。」など1日の体験が充実していたと感じられるコメントが多く聞かれました。今回は親子で参加した方もおり、親御さんからも「普段できない貴重な体験ができてよかったと思います。」という声がありました。学校や習い事など忙しい毎日を送る中ストレスを感じている子が多い現代だからこそ『木と触れ合う』ことがより重要になっていると思います。今回は参加が8名ということでしたが、今後より多くの子供たちがこのような体験ができる環境づくりが大切だと思います。



集中して箸づくり



上手に登れたよ！



上手にできたよ！